

トヨコ通信

2008年3月

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>
e-mail sanbal@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日 : 2008年 3月 1日 第67号
連絡先 : 大垣市室本町5-8
日本共産党大垣市後援会
Tel 78-6865 Fax 78-8572

部内資料

住民の生活を応援する予算を

～3月議会始まる～



2月25日、議会運営委員会が開かれ、平成20年第1回定例会（3月議会）の日程と提出予定の議案が明らかになりました。提出予定議案は予算26件、条例26件、その他人事案件などあわせて計57件です。また、陳情、意見書は5件出ています。

平成20年度予算の主な内容

歳入の根幹をなす市税では、個人市民税の増加や固定資産税の増加などで一般財源総額では前年度より上回っています。歳出は公債費が前年度に比べ減少していますが依然として高い水準にあり、人件費では回塊世代の退職手当で増加、普通建設事業は小中学校の耐震補強や増改築事業、南部学校給食センター、大垣駅南北自由通路整備事業などで前年度より29.5%増になっているのが特徴です。一般会計の予算規模は前年度より23億8000万円（4.6%）増の総額546億5000万円です。

第5次総合計画の前期計画が平成20年度から始まりです。その重点プロジェクト事業として下表のような事業が予算化されています。

プロジェクト事業	金額(単位:千円)	事業概要
都市再生・活性化	1,600,345	大垣駅自由通路、工場等設置奨励金、体育施設大規模改修など
安全・安心	2,580,734	地震対策、治水、防災行政無線、救命救急センター増改築など
環境創造	183,919	生ゴミ減量大作戦、クリーンセンター余熱利用、杭瀬川公園
子育て日本一	1,208,221	子育て・教育・保育関連事業（＊）
かがやきライフ	59,189	かがやきライフタウン推進、男女共同参画、サイトピアリニューアル
合計	5,632,408	100事業（うち新規42事業 1,215,186）

子どもの笑顔が溢れる大垣の町にするために

今回の予算措置の特徴としては、「安全・安心」分野で小中学校の耐震補強事業など地震対策に17億円の事業費が予算化されていること、また「子育て支援」では保育料の軽減拡大や妊婦健康診査の拡充など若い父母の願いが届いたという点で評価できます。いじめ・不登校対策としてほほえみ相談員の配置や水都っ子プランの非常勤講師の配置など比較的良好に行っていると思いますが、学習支援や子どもの居場所作りなど子どもを丸ごと受け止め学校生活を保障する点では、基本的な対策として少人数学級の推進が最も効果的であると思います。

条例・意見書

・大垣市後期高齢者医療に関する条例の制定

- ・農業委員の定数を25から20に削減する条例の一部改正
- ・暴力団員の公営住宅入居ができないようにするための条例の一部改正
- ・青基幼稚園と青基保育園の幼保園化のための条例の一部改正
- ・道路特定財源の確保に関する意見書
（全国市議会議長会の会長提案）
- ・後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書
（自民クラブから提出）

3月議会のスケジュール

3月3日より3月議会が始まります。一般質問は3月10日です。傍聴と質問の応援に来てください。



3月3日(月)	10:00	本会議・提案説明
3月10日(月)	10:00	本会議・一般質問
3月13日(木)	9:00	中心市街地活性化委員会
	13:00	市民病院に関する委員会
3月14日(金)	9:00	建設環境委員会
3月17日(月)	9:00	経済産業委員会
3月18日(火)	9:00	文教厚生委員会
3月19日(水)	9:00	企画総務委員会
3月21日(金)	9:00	議会運営委員会
	10:00	本会議

＊保育料の軽減の拡充

- ①平成20年度保育料軽減率20.8%に
- ②2人以上同時に入園の場合、第2番目の児童の保育料を6割軽減
- ③同一世帯で3人以上養育している場合、3番目以降の3歳未満児にかかる保育料を無料とする。

後期高齢者医療制度は 「手直し」ではなく「廃止」を

後期高齢者医療制度、4月実施を前に

市内各地域で、老人クラブを中心として後期高齢者医療制度についての説明会が行われています。しかし、そこでは何が問題か見えてきません。参加者の中には「それで自分達の保険は上がるのか下がるのか?」「受けられる医療は?」と不安が募るばかりです。

後期高齢者医療制度の創設の狙いは?

…医療費の削減

なぜ75歳以上の別建ての保険制度を作ったのか。その狙いは「団塊の世代」が高齢化のピークを迎える2025年に向けて、医療費をいかに削減するかにあります。そのために長期入院を減らし、在宅で終末を迎える方向へもっていこうというものです。

75歳以上の後期高齢者の診療報酬新設

2月、08年4月からの診療報酬の改定が答申されました。後期高齢者医療制度を前提に75歳以上の高齢者医療の診療報酬が新設されています。その中には、慢性疾患の場合は1人の主治医を決め、診療報酬が定額の6,000円とする制度があり、必要な治療や検査を何回やっても診療報酬には変わりありません。結果的にその範囲以内に医療費を抑制する事になります。また、終末期医療については、患者や家族と話し合って延命措置

等をどうするかといった内容を文書等で決めておくと、2000円の診療報酬が認められます。医療費抑制のため終末期医療を制限するのが狙いです。



今月のふぉと

日本共産党後援会では、各地域で“つどい”を行っています。写真は荒崎地域のつどいで、後期高齢者医療制度の問題について、話をしました。

3月議会「後期高齢者医療制度の 廃止を求める意見書」自民クラブが提出

自民クラブから提出された意見書は、3月議会の初日、本会議冒頭で先議、議決という異例の取扱になっています。私(菅田)も賛成しましたが、その他の会派も賛成すると思われます。なぜ自民クラブは中央の自民党に反旗を翻してまで、率先して廃止を求める意見書を提出したのでしょうか。増税や医療・介護の改悪と今の自民公明政治の悪政はあまりにもひどく、この間の「垣老拡充」の運動や後期高齢者医療制度の老人クラブでの説明会などで、高齢者の怒りは沸点に達している状態と思われます。

ある自民党議員「この状態では選挙は勝てない」と危機感を募らせていました。いずれにしても国政を変えなければ、この状態を変えることはできません。来るべき選挙で共産党が大きく伸びてこそ、この流れを変えることが可能ではないでしょうか。



出前講座「小工事希望者登録制度について」

大垣市が発注する工事のうち、50万円以下は随意契約で行われ、業者の登録制度がありますが、あまり知られていません。2月7日、西濃民主商工会事務所にて「小工事希望者登録制度について」の出前講座が開催されました。はじめに、契約課の担当職員から登録申請方法などについて説明がありました。その後、会員さんから「市民税等完納証明書」など具体的な質問がいくつかありました。担当課の話では、50万円以下の小工事について登録すればそのまま仕事に来るわけではなく、入札資格業者にも発注されているとのこと。この制度ができて何年か経っていますが、大垣市の小工事の発注件数のうち小工事希望登録業者にどれだけ仕事が行っているのか、その制度の検証が必要と感じました。

妊婦健診を増やして

…親子リズムのお母さん達、大垣市に要望

新婦人の会は「妊婦健診の回数を増やして欲しい」と要望書を大垣市に提出し、2月7日保健センター所長と懇談を持ちました。参加したのは親子リズムのお母さん達で、「一般に妊婦健診は13回から14回が望ましいといわれているが大垣市の無料受診券は現在2回のみ。健診には1回に5500円、お産には約100万円かかり、若い夫婦では経済的に大変」といった訴えがありました。これに対して大垣市としては、来年度予算では増やす方向で検討しているが回数までは今のところ出せないとのこと。

その他、この地域のお産事情について懇談しました。里帰り出産ができない東濃地域のようなことはないが、市内では閉鎖した産婦人科もあり厳しい状況。また、大阪で問題になった妊婦健診未受診で出産するといったケースは、2年に1回程度、大垣市民病院で飛び込み出産があるとのことでした。大垣市の出生数は約1500人。出生率は1.35で全国平均を上回っています。

*20年度予算で、妊婦健康診査の無料受診券が2回から5回に拡大されました。